

《履修上の留意事項》 本学のこころの相談センターでの面接や検査を行い、心理状態の観察及び分析並びに必要な支援法を習得する。

また、こころの相談センターのカンファレンスに参加しケースについて学ぶ。  
こころの相談センターでの活動はOSCEを通過していることが必要である。

《担当者名》○金澤 潤一郎 柳生 一白 森 伸幸 富家 直明 野田 昌道 百々 尚美 今井 常晶 本谷 亮 西郷 達雄  
関口 真有

## 【概要】

本学のこころの相談センターでの面接や検査を行い、心理状態の観察及び分析並びに必要な支援法を習得する。  
カンファレンスに参加し、ケースについて学び、カウンセラーの対応についての協議に参加する。

## 【学修目標】

心理に関する要支援者に関する知識および技能を修得し、その要点を説明できる。

要支援者の理解とニーズの把握を通して、支援計画を作成できる。

要支援者へのチームアプローチに参加して、指導者の援助過程を見学し、要支援者の同意が得られたケースでは自ら援助を実践できる。

多職種連携及び地域連携の場に参加し、基本的技能を修得し、その要点を説明できる。

公認心理師の職業倫理及び法的義務について、説明できる。

## 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

## 【評価方法】

本学の実習指導者からの臨床評価レポート等による。

## 【参考書】

参考書： 指導者から個別に紹介される予定である。

## 【学修の準備】

事前配布資料及び実習時に作成する資料は、毎回熟読して、実習に臨むこと。

## 【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、臨床現場において人の尊厳を重んじた科学者・実践家として社会に貢献することが期待できる能力を修得するという臨床心理学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。

## 【実務経験】

担当教員全員が公認心理師である。

## 【実務経験を活かした教育内容】

専門職としての実務経験を活かし、臨床現場に即した実践的教育を行う。